

2021年度（ 2021年4月1日から 2022年3月31日まで ） 連結損益計算書

明治安田生命保険相互会社

(単位:百万円)

科 目	金 額	
経常収益		4,214,339
保険料等収入	2,809,838	
資産運用収益	1,303,059	
利息及び配当金等収入	966,359	
金銭の信託運用益	2,816	
有価証券売却益	115,088	
有価証券償還益	71,940	
為替差益	133,051	
その他運用収益	4,144	
特別勘定資産運用益	9,658	
その他経常収益	101,441	
経常費用		3,982,997
保険金等支払金	2,624,503	
保険金	679,079	
年金	628,789	
給付金	550,883	
解約返戻金	666,735	
その他返戻金等	99,014	
責任準備金等繰入額	291,695	
支払準備金繰入額	20,696	
責任準備金繰入額	270,941	
社員配当金積立利息繰入額	57	
資産運用費用	389,703	
支払利息	52,360	
有価証券売却損	65,987	
有価証券評価損	5,852	
有価証券償還損	9,328	
金融派生商品費用	215,416	
貸倒引当金繰入額	2,237	
貸用不動産等減価償却費	9,919	
その他運用費用	28,601	
事業費用	513,982	
その他経常費用	163,111	
経常利益		231,341
特別利益		124
固定資産等処分益	124	
特別損失		28,047
固定資産等処分損失	6,419	
減損損失	556	
価格変動準備金繰入額	19,484	
社会厚生事業増進助成金	1,587	
税金等調整前当期純剰余		203,418
法人税及び住民税等		12,157
法人税等調整額		9,390
法人税等合計		21,547
当期純剰余		181,870
非支配株主に帰属する当期純剰余		71
親会社に帰属する当期純剰余		181,799

連結損益計算書の注記

1. 当社の保険料は、原則として、収納があり、保険契約上の責任が開始しているものについて、当該収納した金額により計上しております。

なお、収納した保険料のうち、期末時点において未経過となっている期間に対応する部分については、保険業法第116条及び保険業法施行規則第69条第1項第2号に基づき、責任準備金に積み立てております。

当社の保険金等支払金（再保険料を除く）は、保険約款に基づく支払事由が発生し、当該約款に基づいて算定された金額を支払った契約について、当該金額により計上しております。

なお、保険業法第117条及び保険業法施行規則第72条に基づき、期末時点において支払義務が発生したもの、または、まだ支払事由の報告を受けていないものの支払事由が既に発生しているものと認められるもののうち、それぞれ保険金等の支出として計上していないものについて、支払備金を積み立てております。

2. 当連結会計期間における減損損失に関する事項は、次のとおりであります。

(1) 資産のグルーピング方法

当社および一部の連結実質子会社は、保険事業等の用に供している不動産等については、保険事業等ごとに1つの資産グループとしております。また、保険事業等の用に供していない賃貸不動産等および遊休不動産等については、それぞれの物件ごとに1つの資産グループとしております。

(2) 減損損失の認識に至った経緯

一部の資産グループに著しい収益性の低下または時価の下落が見られたことから、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

(3) 減損損失を認識した資産グループと減損損失計上額の固定資産の種類ごとの内訳

用途	件数	減 損 損 失 (百万円)			
		土 地	建 物 等	その他の 無形固定資産	計
賃貸不動産等	0件	—	—	—	—
遊休不動産等	9件	310	242	3	556
合 計	9件	310	242	3	556

(4) 回収可能価額の算定方法

回収可能価額は、賃貸不動産等については物件により使用価値または正味売却価額を、遊休不動産等については正味売却価額を適用しております。なお、使用価値については主に見積乖離リスクを反映させた将来キャッシュ・フローを1.82%で割り引いて算定しております。また、正味売却価額については不動産鑑定評価基準に基づく鑑定評価額等から処分費用見込額を差し引いた価額、または公示価格等を基準にした評価額等をもとに算定しております。なお、一部の関連会社について、足元の事業環境を踏まえ減損損失を認識し、その他経常費用の内訳の「持分法による投資損益」に計上しております。